

委員長 それでは、暫時休憩といたします。40分。
やっちゃいますか。続けてやっちゃってよろしいですか。

(「はい」の声多数)

それでは、認定第9号令和6年度松田町下水道事業会計の決算の認定について、御質問のある委員は挙手をお願いいたします。

飯田委員 私、議員になったとき、一般会計から下水道事業への繰入金で3億円ぐらい毎年あったんです。今見たら、6,300万円、かなりいい状況になったなと思うんですが、現在の下水道の整備状況をちょっと教えていただきたいんです。

まず1つは、下水道事業計画区域はどのくらいか。それと下水道整備区域がどのくらいか。それとあと未整備率はまだあるかということ。

それと、あともう1つは、未接続世帯が下水道事業計画区域、何%ぐらいまだ未接続世帯になっていますよというデータがありましたら教えていただきたいと思うんですが。

それと、その未接続住宅、なぜ接続されていないのか、その主な原因があれば、その原因を幾つか教えていただければと思います。

環境上下水道課長補佐 まず、下水道事業計画区域面積としては220.3ヘクタール。整備済の区域面積としましては、198.4ヘクタール。なので一応整備率としては、90.1%という形で捉えております。

接続率なんですけれども、これは計算方法でいきますと、接続人口、区域内人口を9,004、これ6年度末の数字なんですけれども、区域内人口が9,004人で、区域内の接続人口が8,755人ということで、一応接続率としては97.2%という数字で捉えているところでございます。

以上です。

委員長 あと原因です。

飯田委員 ちょっとその前に。

委員長 よろしいですか。

飯田委員 接続は個人単位じゃないですよ、世帯単位。そうしたらその未接続世帯の数を教えてもらいたいです。

環境上下水道課長補佐 すみません。世帯接続率としましては、区域内の世帯4,203で、区域内の接続世帯が4,060というところで96.6%、世帯接続率としては96.6%というところで捉えております。

接続していない未接続の状況がなぜかというところなんですけれども、やはりなかなか接続するにも費用等がかかる関係で、家の大きな改修とか、建て替えとかというタイミングでないと、なかなかやっていただけないという現状がございます。町としても、一応、勧奨は行っているところなんですけれども、費用負担がありますので、その辺は柔軟に考えているところでございます。

以上です。

飯田委員 10年前から、一般住宅の非接続あるのは半分ぐらい、前181世帯だったんです。12年前は。それから比べると、半分ぐらいよくなったというぐらい感じるけれども、順調なのかなと思います。この残りの3点、目標は100%なんですけど、接続されていない世帯というのは、今後ね、結構難しい部分があるんですか。

環境上下水道課長補佐 ここ何年かで大きく進んでいるのは、町営住宅などが解体される中で、その辺が減ってきたというところが大きかったと思うんですけども、やはりこれ以降については、戸建ての家等の持ち家です。等の未接続の方も、相当数いらっしゃると思いますので、その方たちにはお願いという形では勧奨を続けるんですけども、なかなか難しいかなというところは考えているところでございます。

以上です。

飯田委員 やはり、接続する人が増えれば、それだけ町の収入もね、増えてきますので、ぜひ、引き続きこの辺頑張ってもらいたいというふうに思います。

委員長 よろしいですか。

飯田委員 はい。以上です。

委員長 ほかにございますか。

寺嶋委員 今回、まず1点目、ちょっと私もよく分からないんですけども、他会計負担金ですよね。413ページ。一般会計繰入金になっていますけども、632万何がしというような、6,300万円以上、一般会計からの、負担金なんだけど、実際

は一般会計繰入金ということですが、それで費用のほうでは、流域下水道管理負担金、運営負担金が6,800万円というようなことになっていて、この下水道というのは、流域下水道維持管理費負担金と建設改良工事負担金というのは、こういうのがあると思うんですけれども、この関係でね、この流域下水道負担金とかそういう費用の関係で言うと、どういうふうなことで、一般会計繰入金負担金がね、6,300万円を払う、払うというのは、出すようなことになっているのか、その仕組みが、下水場事業の場合は複雑なんで、この辺がありますので、その辺からお伺いをいたします。

環境上下水道課長補佐　　まず、下水道の一般会計からの繰出については、基本的に本来、一般会計で負担すべきものというふうに整理された繰出金、今回のこの6,326万3,000円については、一般会計で負担すべきものとして整理されている総務省通知の繰出基準に基づいているものというふうに考えていただければと思います。これ基本的には松田町の場合は、元利償還金、過去に建設改良等で借り入れたものに対する元利償還金の額に対するパーセンテージで決まっております、そちらの分を基本的にはそれがその一部は普通交付税によって措置されるという整理になっているので、その部分について基準内繰出ということで認められている繰出金でございます。

先ほど言った流域については、これはちょっと切り離していただいて、もちろん流域の部分の建設費負担金に対する借り入れた建設改良の起債についての償還についても、この繰出基準の中には入っているので、一部は入っているんですけれども、管理の負担金とかというのは直接影響していないところですので、その辺は御承知おきいただければと思います。

以上です。

寺　嶋　委　員　　酒匂川流域下水道事業維持管理負担金6,800万円ですけれども、これが交付税算入から抜いた部分以外のところを負担金として出しているというようなことになるのかなと思うんですけれども、この他会計負担金というのは、負担金に対してどのように負担しているのか。ちょっともう一回確認したいんですけれども。

環境上下水道課長補佐 流域下水道の管理の負担金は全く一般会計からの繰入とは関係ないとお考え
いただきたいです。建設改良の部分、建設費負担金の部分については、後ほど
元利償還、起債を起こしていますので、後ほど元利償還金として払っている
ときに繰入基準に基づいて、一般会計から繰り入れることはありますけれども、
管理の負担金は基本的には切り離していただいで大丈夫です。

以上です。

寺 嶋 委 員 417ページの一般会計繰入金の基準ね、6,300万円の基準というのをもう一回、
どういうふうに6,300万円に繰入れをするのか、この辺の構成について、再度
お伺いをいたします。

環境上下水道課長補佐 繰出しの考え方として、例えば、分流式下水道に要する経費の元利償還金の
例えば50%とか、あとは企業会計以降の、先に起債した償還に対する55%とか、
そういった形で個別に決まっておりますので、その積み上げだというふうに思
っていただければと思います。

寺 嶋 委 員 おおよそは分かりました。じゃあ404ページの他会計キャッシュフローです
か。他会計借入金による収入というのは、これは、これは一般会計ですか。こ
れはずっと将来的にといいますか、当面、続くのですか。これ、借入金の収入
というのは、その辺をお伺いします。

環境上下水道課長補佐 議員おっしゃる404ページの他会計借入金による収入1,000万円というこ
とでよろしいですか。

こちらについては、先ほどの簡水で1,300とかと言った金額を持って、運
転資金に充てるための一般会計からの、これは借入れという形です。なので、
こちらがどう推移していくかというのと、下水に関しては、今、現金の差引上は、
数千万円プラスにはなっております。ただ、現状、資本費平準化債という起債
を借りているんですけれども、こちらが企業会計移行から3年で借りられな
くなります。それに伴って、現金の調達で2,000万円台ぐらい穴が開いてきま
すので、そこが借りられなくなってくると、基本的には今の営業収支で見ると
マイナスになりかねないなというところで、借入れは続けないと厳しいかもし
れないというところがございます。

以上です。

寺 嶋 委 員 員 それでは最後に、下水道6年度決算の営業成績を示す、当年度経常利益がマイナス1,366万5,351円ということで、これでいくと、単年度では赤字運営というふうになっておりますけれども、この見方とこれからの運営はどのようにやっていくのか、その辺についてお伺いします。

環境上下水道課長補佐 下水道のほうも、経常利益がマイナスというところで、本来営業収入、営業収益で賄っていかなければいけないところできていないという状況の中では、やはり水道に続いて、こちらの審議会ありますので、早い段階で審議会を立ち上げて、そちらの料金改定も含めてになりますけれども、検討していかなければいけないというふうに考えているところでございます。

以上です。

寺 嶋 委 員 員 終わります。

委 員 長 ほかにございますか。

田 代 委 員 員 先ほどの寄簡水で質問させていただいた内容、要するに借入金なしではやっていけないということで、下水道も同様だと、そういう解釈でよろしいわけですね。

それを前提に質問です。先ほど副町長とやり取りした中で、2市8町の下水道使用料、平成25年当時40%ぐらい、松田は安かったと。中井と松田が一番安かったということで、40%の、39%ぐらいだと思うんですけども、答申があって、2回に分けて、そのときは周りの2市5町と大体合わせたと。今現在、松田のこの下水道使用料がどういう状況か、やはり高いか、安いか。要は、平成29年以降を6年間、今、何も手をつけていないということで、やはり厳しくなったから赤字が出始めてしまったのかという質問が1点目です。

次に2点目です。412ページかな。報告のところに、一つの経営が苦しい要因として、中段を見ていただきたいと思います。下水道事業は、流域下水道管理運営負担金、それと減価償却費で合計が2億5,617万7,111円、これだけになってしまったということで、これをね、詳細をね409ページ見たんですよ。409ごめんください。405ページです。405ページをお願いします。その上段のほうで

す。営業費用の（３）です。流域下水道管理運営負担金6,817万5,465円、それと、減価償却費1億5,146万2,136円。これを足すと、2億1,963万7,592円なんですよ。

一方で、こちらのほうでは、2億5,617万7,111円と、報告書のほうでね。約3,650万円ほど差があるんですけど、この差についてはどういうことか。この2点について。

あとね、流域下水道が管理経費が結構高騰していると、これもやはり赤字経営の原因だということなんですけれども、こういった内容なのかね、流域下水道の管理経費が上がった内容、この3点について、お答えをお願いいたします。

環境上下水道課長補佐

すみません。近隣等の料金設定の状況は、すみません。ちょっと今、下水道については、比較するものを持ち合わせていないんですけども、基本的には料金改定の年度とか頻度を見ると、やはり松田町については、価格は低い状況で抑えられているというふうには認識しております。

金額の差なんですけれども、基本的に、412ページで書かれている2億5,657万7,111円というのは、流域下水道の運営費負担金の減価償却費は大きな割合を占めているだけでありまして、見ていただきたいのは、418ページ以降の明細の418ページ、419ページ、それから420ページ、421ページの下段のほうに営業外費用以下は今回のには入っていないんですけど営業外費用より上の部分について、全て入ってくるような状況なので、管理運営負担金と減価償却費は大きな割合を占めるんですけれども、それ以外に、管渠費と総係費というものも含めての金額という形になっているところでございます。

それから、あと最後に流域下水道の管理運営のほうの負担金が伸びている状況がどういうことかという形なんですけれども、当然、管理運営の中で上水、簡水と変わらず、電気料の高騰なんかもあるんですけども、現状耐震等を進めている中で費用が増えているというふうには聞いているところで、すみません。それは建設費です。なので、基本的には、電気料等の増えた分とか、そういった部分が大きな、あとは、修繕は管理運営費の中で、建設費ではなく、管理運営の中でやっているという中で、修繕費用なども増えているというふう

には聞いているところでございます。

以上です。

田代委員 ありがとうございます。

最後に1点ね、先ほどの借入金の関係なんですけれども、どの会計もそうなんですけど、公債費が一番最後に入っていますよね。これ水道事業の企業債明細書、これについては、先ほど寺嶋議員のやり取りの中で、下水道を整備するときに投資した額の何割かを町が負担して、それで交付税でバックされるという説明で、そのように理解しています。ですから、これは投資的事業で、下水道会計で、返すお金じゃないというふうに認識をします。

一方で、借入金、要するにこれは一般会計からの借入金1,000万円やっていますけど、これも多分、来年も再来年もするようになると思うんですよ。その場合に、決算上で、その借入金、これがここに出てくるのかどうか。まだ単年度だから、寄簡水に出ていなかったと思うんだけど、要は、借入金例えば、20年返済で何%になるというのが、この投資的事業と一緒に、運営費に対する借入金について、決算上出てくるかどうか。

環境上下水道課長補佐 運営費の借り入れ、運転資金の借り入れについて、明細で出す形というのは、ちょっとほかの市町村の事例で見たことないんですけれども、基本的に他会計の借入金は、今回でいうと409ページですか。貸借対照表には累積で必ず乗っかってきますので、そこから減価償却の元金償却が始まれば、そこから引かれていったりという形で、累積額は必ず見えるようにはなっております。

以上です。

田代委員 分かりました。終わります。ありがとうございました。

委員長 ほかにございますか。

ないようでしたら、議長のほうからあれば、よろしく願いいたします。

議長 これもやはり他会計の借り入れというのが指摘はされていて、今、皆さんが質問することによって明らかになってきたということで、心配な状況ですが、またこれも審議会にかけてということになると思うんですけれども、やはり、上水とかと同じタイミングで、そういうふうな値上げとかが審議されていくと

いうふうに考えたほうがいいんですか。それとも、タイミングずらすとか。

環境上下水道課長　　今、御質問いただいた件につきましては、実は2回ほど審議会を開催する中
でもお話をいただきました。ただ、今回はあくまで上水道、簡易水道について、
まずは料金改定の必要性の部分等をしっかり審議していただいた上で、その次
のステップとして、下水道料金のほうにも着手せざるを得ないかなというよう
なお話をいただいていますので、我々としましても、下水道料金についても次
のステップとして考えていかなければいけないなというふうには理解していま
すので、来年度辺り動き出したいなというふうには今、現状では考えていると
ころでございます。

議　　員　　長　　ありがとうございます。

委　　員　　長　　それでは、これで質疑を打ち切りたいと思いますが、御異議ございませんか。

（「異議なし」の声多数）

それでは異議なしと認めます。質疑を打ち切ります。

職員の方につきましては、長い間ありがとうございました。これをもちまし
て質疑を終了といたしますので、御退席をお願いいたします。

ありがとうございました。

（職　員　退　室）

（私語あり）

11時10分まで休憩いたします。

（10時51分）